



住める くらせる 東京に

日本共産党
都議会議員

せいの恵子 都政レポート

No.014 2026年3月号

発行・日本共産党・せいの恵子事務所
〒114-0032 北区中十条2-11-6
☎3906-2821 FAX 3906-3225

王子に超高層、本当に必要？

民間事業者が検討案 190メートル、50階のツインタワーを建設

王子駅周辺まちづくりの再開発計画が進んでいます。

幼い頃より、北区で生まれ育った私の一番身近な繁華街は王子。今はなくなってしまった王子シネマで映画を観たり、友達とサンスクエアのスケート場やボウリング場で遊んだり、食事をしたり…。楽しかった思い出がたくさんあります。

緑豊かな桜の名所、飛鳥山。その脇を走る都電は今でも昭和の名残を残す、下町北区が誇る風景です。庶民の台所として賑わった東武ストア、歴史のある柳小路商店街なども、地元住民に親しまれてきました。

一方で王子駅周辺地域には、水害対策や複雑な動線の解消、歩行者空間の整備などの課題もあります。今回の再開発計画が、仮にこうした課題の解決に向けた一歩になるとしても、高さ190メートル、50階のツインタワーという威圧的な超高層建築は、誰が見ても王子に似つかわしくないことは明らかではないでしょうか。

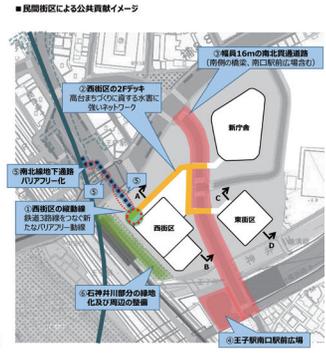
王子のまちに必要なものはなにか？ 住民の声を聞き、そこに暮らす人たちが安全・安心に住み続けられるまちづくりを、住民とともに考え示していくことが、今こそ北区に求められています。



この場所に、190メートル、50階のツインタワーが出現するのか？



■計画概要	
住所	東京都北区王子1丁目
敷地面積	約118,000㎡
延床面積	約270,000㎡
用途地域	再開発等促進区を定める地区計画
用途地域	商業地域、準工業地域
用途	住宅、商業、ホテル、事務所等
建築物高さ	約190m
容積率	概ね1000%



王子駅前まちづくり整備計画（先行実施地区）の民間事業者（住友不動産）による検討案（第4回王子共創会議資料より）

米国とイスラエルによるイランへの武力攻撃に、戦争を止めるため日本も世界と連帯し、行動を広げようという市民の声が広がっています。

私は1月、日本共産党都議団の平和チームの一員として沖縄へ視察に行ってきました。

沖縄では、「万国津梁」（近隣諸国の架け橋）という琉球王国時代からの平和を重視する各国との交流が、今も行わ

せいの恵子の
自転車に乗って

平和祈念公園にある「平和の礎」には、国籍や軍人・民間人を問わず、沖縄戦で亡くなった24万人以上の戦没者の名前が刻まれています。

戦争は、私たちの日常や生きる権利さえも奪うもの。沖縄で目の当たりにした戦争の悲劇を二度と繰り返さないために、私も「武力ではなく対話で」「無法な戦争は直ちにやめよ」と声をあげます。

無法な戦争は、ただちにやめよ！

容積率を1000%に緩和

今回の検討案は、北区新庁舎と2棟のタワーマンションを囲む整備区域全体に「再開発等促進区」という地区計画を定めることによって、本来は容積率500%の用途地域内で、2倍の1000%まで容積率を緩和しようというものです。その結果、都心区や湾岸地域を除いて、23区内でも突出した50階のツインタワーの建設が可能となります。

十条駅西口再開発で建てられた39階の「ザ・タワー十条」は、入居者や店舗が思うように入らず、多くの分譲物件が投資・投機目的で売り買いされています。

北区は、国の再開発補助金を獲得するために2026年度中の都市計画決定をめざしていますが、住民の合意がないまま性急に計画を推し進めることは、将来の王子のまちづくりに禍根を残すことになりかねません。